

しおはま

地区広報

令和6年3月第84号
(塩浜だより 第95号)



駐輪場予定地

まちづくり構想

塩浜駅 駅西駐輪場の整備はじまる



塩浜地区連合自治会

会長 石田 清延

平成二十七年十二月に発出した塩浜地区まちづくり構想策定委員会の会議を二十四回重ね、協議内容をまとめ、令和元年十二月、四日市市長に塩浜地区まちづくり構想を提出し、具体的に実施出来る事から、特に我々の要望であった「塩浜駅前の再開発」として本年度から駅西の駐輪場整備が始まります。自転車ロータリー及び、周りの歩道から一台もなくなる計画です。

駅東側で特に気になるのは、通勤・通学と工事関連の作業員および工事車両・一般車両など多くの方の利用で、毎朝の交通量が多く、横断歩道、ロータリーなどいろいろ対策して、事故が起こらないよう考えていかなければなりません。

塩浜街道の渋滞について、最近(二月六日)臨港道路検討会の初会合が持たれ、南側延長(塩浜沿岸部)の議論がなされ、我々塩浜地区としても、塩浜街道渋滞解消に向けて一助になればと期待し今後、連合としていろいろな所に働きかけをする必要があります。

新年早々の、能登半島地震災害のように隆起・液状化現象が、「第一コンビナートでは大丈夫か」と、よく聞かれます。私は行政・企業・住民と話し合い住民に知らしめることが大切であり、新しい年度に入り各自治会で会長が選ばれますが自分の自治会も大切ですが、塩浜全体でまとまって事をなすのが重要です。

編集発行：塩浜地区社会福祉協議会 文化体育部

塩浜地区の人口 総数5,897人/男3,000人/女2,897人/世帯数3,229世帯 (2024年2月現在)

塩浜!

多様性に満ちた社会とは、あらゆる差別の解消を図り、全ての人が個性を尊重し合いながら、多様な文化や価値観を受け入れ互いに支え合っている社会のことです。異なる性別や、それぞれの人々が持つ多種多様について、塩浜の小学生、中学生が人権学習を真剣に向き合っています。

災害時に弱者を取り残さないよう、私たちも一緒に考えていきましょう。



「普通」



塩浜中学校
二年
山田 実快

私の家は、五人兄弟です。その下から二番目の弟は軽度知的障害と、ADHD(多動性障害)という障害を持っています。ですが、軽い障害なので見た目もほかの人と変わらないし、ほかの小学一年生ができることは大体できます。だから、弟に障害があるというのと、「普通の人と変わらないね。」と言われます。これを聞いたとき、普通とは何なのかいつも思います。私たちの家族にとって、障害がある弟が普通であって、何でもできたらそれはそれで普通じゃないと思います。ならば普通とは何なんでしょうか。みんな毎日のようにその言葉を使い、聞いていると思います。でも、その普通とは、誰が決めたのか、誰にとつてなのか考えて発言してはいいと思います。

普通とは何か、聞いてみると、他と変わらない、みんなと同じ、という答えが返ってきました。なら、障害があつて他の人のようにうまくしゃべれない人や、

生まれた国が違って、肌の色や、しゃべる言葉が違う人たちは、普通ではないのか、そんな疑問が出てきます。

人間は、無意識のうちでも、自分が普通と感ぜられなかつたら差別してしまうことが多いです。そんな偏見が生まれてしまふのはみんなが自分は普通であつて自分と違う人は普通じゃないという考えが頭の中にあるからだと思います。自分は普通だからできる、あの人は普通じゃないからできない。障害がありできないことがある人にもこういう風に思ってしまう人もたくさんいると思います。でも、この考え方をなくすのは、実際に自分自身に他と違うところがあつたり差別や偏見を受けたことがあつたりしないと難しいと思います。差別や偏見をしてはいけないと思つていても実際に自分と違うところがある人に出会つたときには自分の中の普通とその人を比べてみてしまうというところも起きてしまうと思います。でも、それを少しでも減らそうとするには、まず、自分が心の奥では差別をしてしまつているというのを自覚していくことが大切だと思います。他の人と違いがあるのが普通、人間のだから一人一人違うのだ

ということを理解してみんなが人に接することができれば差別や偏見もなくなり、そのせいで傷つく人もいなくなると思います。

私の弟は、ほかの一年生よりは、できないことが多いので、仲間外れにされることがあると言っていました。小学五、六年生や、中学生になつたら、人権学習などで人権を学ぶことがあるけど、一年生は学ぶことがないので、しょうがないかもしれない。でも、こういった障害者に対する仲間外れというのは、そういう差別をしている大人を見てマネをしているんじゃないでしょうか。子どもは自分で考



えて行動をすることが難しいので大人のちよつとしたときに出る差別や偏見などを見たり聞いたりして、仲間外れなどではないかと思ひます。

だから、こういった障害がある人への仲間外れや、差別、偏見などをなくすためには、大人や中学生などお相手となる人が差別や偏見をなくすために意識を変えていくことが差別や偏見をなくし、多様性を認め合えるようになっていくと思ひます。これから差別や偏見をなくすために、少しでも手本になれるように、自分事として考えて、弟などの障害のある人たちが少しでも暮らしやすいようにしていきたいです。

皆の価値観



塩浜小学校
六年
村上 琉奈

私はこの世界には、性別による差別があると思ひます。なぜ

かというところ、女の人は男の人みたいな髪型やズボンをはいていても違和感などを感じないのに対し、男の人が女の人みたいな髪型やスカートをはいていたら、違和感を感じ「気持ち悪い」などと思う人が多いと思ひます。

私はそのことに性別による男

大好き

女差別を感じることはありません。私はクラスメイトの男の人が急にスカートをはいてきたら、最初はびっくりしますが、少し経つと慣れて普通に接すると思います。でも「気持ち悪い」や「男の人が女の人みたいな格好をするのはおかしい」と思う人もいると思います。実際に私のクラスにはそう思う人が半分以上います。私のクラスでは一回考えたときに男の人がスカートをはいてもいいと考えていましたが、クラスの人で考えたときにやっぱり「気持ち悪い」と思ったり、笑ったりしていました。なので、私は世界でそういう考えの人が多いと思います。なぜならみんなと価値観が違



い、みんなの思う「普通」じゃないからです。だけど私はその考えのほうがおかしいと思います。なぜならその人の格好を他人がどう言うのは違うと思います。たとえその人が男の人で女の人みたいな心を持っていても、ただその人が男の人に生まれただけで本人も自分の「すき」をだしただけなのに、「気持ち悪い」や「男の人が女の人みたいな格好をするのはおかしい」など言われるのは傷つくと思います。それに人の価値観は人それぞれだと思うし、「私みたいな人には人権はないのか」と人権がないと思ったりしてしまうのだろうかと思いません。それに本人も「自分も好きでこの性別に生まれたんじゃない」と思います。

私は社会の歴史の勉強で、明治時代の学習中に、福沢諭吉を習いました。福沢諭吉は「学問のすゝめ」という本の中で、「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり。」という文があります。人はみな生まれながら平等であるという意味ですが、私はこの考えに賛成していません。それにこの文から明治時代からもこのような考えがあつたんじゃないのかと思えます。明治時代は女装したり、男装したりしていたら罰せられるということがありました。今の時代には罰せられることはないですが、差別されることはあります。このことから、差別する社会はあまり変わっていないのではないかと思います。

私はSNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）やインターネットなどに女装などを投稿して同じ人を探したり、女装などする心を理解させようとしたりするためにSNSやインターネットなどに投稿している人を尊敬しています。なぜかというと、実際にYouTubeで『じんくん』という人が、女装して街の人にドッキリしたりしていて、その人は自分のことを「ビジネスではなくこの姿が自分の生きやすい生き方」といついていて、理解してもらえように行動に移しているからです。私は行動にあまり移せていないので、このような人が増えていくように応援したいと思います。自分と価値観が違う人と出会ったときに、「変だな」「可笑しいな」などと思うのを、無理に直してとは言いません。ですが本人が傷つくようなことをわざわざ言わずに心の中にとどまっています。私はこういうことを世界中の人々が協力していくとこの世界から性別による男女差別をなくせると思います。なので、私はみんなが協力し、このような人たちをこれからも認めたいと思いい、世界中の人もこのようにな

「地域の見守り隊」として



民生委員児童委員協議会会長 石田 節子



昨年度会長に就任して、一年が経ちました。地域の皆様には、民生委員児童委員活動にご理解ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

民生委員は、児童委員も兼ねており、昨年は、読み聞かせ活動を始めました。小学校・こども園・保育園・子育て支援センター・児童館を訪問し、たくさんの方々が笑顔があふれていました。子どもたち

が健やかに育っていける環境になってほしいと活動を行っています。

民生委員児童委員も地域住民の一人であると共に、住民の立場に立って相談に応じ、支援サービスを受けられるように関係機関へつなぐパイプ役になります。住み慣れた場所ですら安全に暮らせる町の相談員として、「地域の見守り隊」となり、相談してよかった、聞いてもらってよかったと安心できる存在になれるよう、住みよい社会を目指して活動していきます。今後ともよろしくお願いたします。

話題



「野球しようぜ！」塩浜小学校に届いた大谷グローブ



自治会)



新春落語会 (文化体育部)



なぎ
らった!

地域ふれあい「立て干し」



民生・児童委員による「ひなかざり」(塩浜駅連絡通路)



美術作品展 (塩浜小学校)



御菌町獅子舞の出前授業（塩浜小学校）



災害に備えて 防災出前授業（塩浜中学校）



敬老会（連合）

令和5年度 塩中人権コンサート

講師 RAMOさん

演題 『知ろうとするより感じてほしい』



うた
と
企業地



健康講座（福祉環境部）



三泗小中美術展 出品作品



永い間

阿野田 浅克さんを 偲んで...

ありがとう
ございました

第九回 社協会長杯 グランドゴルフ大会 会長挨拶



阿野田さんとの思い出

令和五年七月三十一日、浜旭住宅の前塩浜地区社会福祉協議会・会長の阿野田浅克様がご逝去されました。

故、阿野田さんは、永年に渡り下記のような経歴・功績を積み重ねてこられた方ですが、他にも塩浜地区での色々な役員を務められ、地区活動の先頭に立ち貢献して頂きました。

平成二十六年の塩浜小学校と三浜小学校の合併以来、学童の見守り隊として登校する子どもたちにヘルスプラザ前で朝の挨拶、声掛け、付き添いなどとして、安全のための見守りを続けてこられました。毎朝ヘルスプラザ前で、子どもたちにお声を掛けて見える貴方の姿が忘れられません。その貴方の声に子ども

また、塩浜小学校コミュニティスクール運営協議会委員長を務め、親・学校・地域と協力して、よりよい学校作りのためにご尽力頂きました。さらには、キッズ農園の委員として子どもたちとの共同野菜作り、塩浜防災協議会・代表委員も務められました。



社協役員では、保健体育部長として地区高齢者の健康を第一に引きこもりをなくし、コミュニケーション、体力の維持目的で、グランドゴルフの推進に取り組み、各種大会、社



もたちも元氣よく挨拶を返して頂きましたね。子どもたちがいつか大人になった時に、きっと塩浜での子ども時代の懐かしい思い出の一つとなることでしょう。

また、塩浜小学校コミュニティスクール運営協議会委員長を務め、親・学校・地域と協力して、よりよい学校作りのためにご尽力頂きました。さらには、キッズ農園の委員として子どもたちとの共同野菜作り、塩浜防災協議会・代表委員も務められました。

協会長杯、連合自治会長杯、昭石地区ふれあいGG大会などを保健体育部のメイン事業にしました。(現在はコロナ禍で社協会長杯のみとなっております。)

おくやみ

昨年、7月31日 前塩浜地区社会福祉協議会・会長の阿野田浅克様のご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

経歴・功績

- H14.4~R5.8 浜旭住宅 自治会長
- H19.4~H23.3 市スポーツ推進委員
- H19.4~H20.3 社協・保険体育部・副部長
- H20.4~H28.3 社協・保険体育部・部長
- H20.4~H28.3 連合自治会・経理部長
- H28.4~R5.3 連合自治会・副会長 社協・会長
- R3.10 永年勤続自治会長表彰 20年表彰
- H18年5年表彰、H23年10年表彰、H28年15年表彰
- H27.10 四日市市社会福祉協議会会長 感謝状

ヘルスプラザのグランドゴルフ場の芝生管理のためには、芝刈り・肥料やり・消毒など、年間を通じて行う作業は大変でした。二十年以上に渡る役員の間、私たちが行事に参加すればいつもその場には背の高いガラガラと笑う、気さくに声をかけてくださる阿野田さんがいらっしやいました。

塩浜地区のため本来にお疲れ様でした!! ありがとうございます。これからのグランドゴルフ場整備は後継ぎの役員で

守っていきます。阿野田さんが頑張った諸々の塩浜の地区活動は、地区に住む私たちで引き継いで行きますのでご安心下さい。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(文化体育部 中井)



地域の お寺さん お宮さん ⑥



塩浜地区には、お寺さんが8寺、お宮さんが3社あります。今シリーズは塩浜の歴史を紐解きながら寄稿していただきました。6回目は「金剛寺」さんです。

浄土宗 圓明山 金剛寺

本山（現在総本山知恩院、昔は現大本山黒谷金戒光明寺）現住職・金剛寺第二十三世・松平賢浄。建立年は不詳だが元は員弁郡筑紫村にあったお寺であります。

金剛寺という寺号のとおり

元々真言宗のお寺であったようですが明暦二年（一六五六）四月、浄土宗黒谷派、京都の黒谷金戒光明寺第三十二世法主檀譽順応上人の弟子本譽檀上人を迎えて筑紫村から現在地馳出町に移転しました。

その時に真言宗の一宗より浄土宗黒谷派に改宗して開基としました。

その後嘉永七年（安政元年）一八五四年六月十四日上刻（十五日午前一時）未曾有の大地震で全壊し当時の什器、資料など一切が無に帰しました。その年の十一月四日二度目の大地震があり三重県では二十mの津波があったと言われています。

明治元年（一八六八年）になり新政府は「神仏分離令」を發布しました。それまでの日本は、神も仏も同様に敬う神仏習合が続いていました。政府の目的はあくまでも、神道と外来の仏教をはっきり分けることでした。

王政復古することにより、いわゆる神道国教化が富国強兵につながると考えたからです。

しかし国民の多くは神仏分離令を廃仏令と受け取りました。民衆が寺院を襲撃する仏教は排斥運動によって、仏教界は壊滅的な被害を受けました。特に伊勢神宮のお膝元では廃寺になる

寺院が続出しました。

明治五年六月、金剛寺十九世猛譽鏡随上人の時、多気郡明和村の廃寺（築百年）を解体し海上輸送にて再建しました。その功績により猛譽上人は金剛寺中興の祖となりました。



わか町 ⑨

—馳出・宝・宮東町—

自治会長
佐藤 忠嗣

馳出・宝・宮東町の三町で一つの自治会を結成しています。

平安時代末には、出来ていたといわれる馳出村（現馳出町）ですが、地名の「馳出」は、珍しい名称で、近郷から人々が「馳せ出して」できた村とも言われ、今でも町内にある二カ寺（浄福寺、金剛寺）の檀家は少なく、桑名市や日野、内部、塩浜など他所の寺院に属している家が多いのが不思議です。

町内（宝町）には、塩浜地区第一号となる、近代工場、東洋毛糸紡績（現コスモ電子）が昭和七年に設立され、昭和一九年には国鉄塩浜駅（現JR貨物専用駅）が開業、現在は、昭和四日市石油の製品輸送の車両基地となっています。さらに町内（宝町）には、味の素食品、太陽化学の各工場があります。

昭和三一年には、塩浜地区唯一「塩浜1638市場」が開設され「青果、鮮魚、精肉」の他日用品などが販売され、開設時に比べ出店業者は減少していま

すが、地域に根ざした日々の生活用品が揃う便利な市場として地元の高齢者を中心に利用されています。

また塩浜地区唯一の四日市市指定有形文化財の「地藏菩薩尊像」を安置する「馳出地藏堂」の「地藏盆法要」、氏神「須崎浜神明神社」（海山道神社）祭礼や大祓いの伝統行事があり「イキイキサロン」「ふれあい広場」「納涼フェスタ」など自治会主催の行事が続けられています。

当町も少子高齢化と空家、空地問題、集合住宅居住者の自治会不加入問題など課題山積ですが、「安全、安心で美しい住みよい町づくり」を目指していきたいと思っています。



Go! 塩浜っ子

磯津保育園



ふれあい会で地域の方に歌や合奏を聴いて頂きました。



いろいろな楽器を使って演奏しました。

海山道保育園



おいしくなあ〜れ!!



もうすぐでき上がり!! 早く食べたいなあー!

塩浜こども園



「ニャゴ ニャゴ 大きな魚食べちゃうぞ」



「わあー 雪がいっぱい落ちてきた」